

種別		概要	研究期間の区分	定時申請 (毎年12月〆切)	随時申請 (前年度2月受付開始)	旅費 配分	研究費 配分	備考
(A)	課題研究	年間100万円まで配分される規模の大きな共同利用研究です。最低3機関の参加が必要です。	前期・後期・通年 (*)から選択いただけます。前期、後期の研究期間をご確認いただき、どの時期に研究を実施するかご検討の上研究期間を選択してください。	あり	なし	あり	あり	配分予算額が大きく参画機関も3つ以上(分子研含む)と定められているため、規模感の大きな共同利用研究や新分野創成を検討する場合にご検討ください。
(B)	協力研究 【①②から選択してください。】	① 協力研究	分子研の研究者と1対1で行う共同利用研究です。原則2年間の継続が可能です。	前期・後期・通年 (*)から選択いただけます。前期、後期の研究期間をご確認いただき、どの時期に研究を実施するかご検討の上研究期間を選択してください。	あり	あり	あり	研究を継続できる期間は原則2年間です。3年目の申請の場合、成果発表の実績や見込みについて記入した上で継続の必要性を説明しなければ審査対象となりません。また、所内対応者の分子研教員とどのように協力し、なぜ分子研で共同利用研究を行う必要があるのかを明記してあるかどうか大きな審査基準となります。
		② 協力研究 (マテリアル先端リサーチインフラ)	特定の機器 (https://arim.ims.ac.jp/howtouse/list/) を使用する場合の協力研究です。	通年のみ選択いただけます。一度の申請で一年を通じてご利用いただけるため、来所計画などをよくご検討ください。	なし	あり(随時のみ)	あり	なし
(C)	研究会	最大40人程度の小規模研究会を実施する場合に旅費を配分します。3名まで外国人研究者を招へい可能です。	通年のみ選択いただけます。	あり	あり	あり	なし	on-web開催の場合のみ、複数回研究会を開催していただけます。その他の場合は1回しか認めません。
(D)	若手研究活動支援	若手研究者の活動を支援します。	通年のみ選択いただけます。	あり	あり	あり	なし	

(*) 前期…4月～9月 / 後期…10月～翌3月 / 通年…3月～翌3月

種別		概要	研究期間の区分	定時申請 (毎年12月〆切)	随時申請 (前年度2月受付開始)	旅費 配分	研究費 配分	備考
(E)	分子科学国際研究集会 (岡崎コンファレンス)	将来展望、研究の新展開の議論を主旨とする小規模な国際研究集会です。4～5名の外国人研究者を招へい可能です。最大300万円まで旅費を配分します。	前期・後期・通年 (*)から選択いただけます。前期、後期の研究期間をご確認いただき、どの時期に研究集会を実施するかご検討の上研究期間を選択してください。	あり	なし	あり	なし	4名から5名の外国人研究者を招へいする場合はこちらを選択してください。予算規模も(C)研究会より大きいため、審査にあたってヒアリングがあります。
(F)	UVSOR施設利用 【①②から選択してください。】	① UVSOR施設利用	UVSORを利用する場合はこちらへ申請してください。	あり	あり	あり	なし	随時申請のマシナタイムは、定時申請の採択課題に割り当てた後の残時間となります。場合によっては空きがありません。
		② UVSOR施設利用 (マテリアル先端リサーチインフラ)	特定の設備 (https://arim.ims.ac.jp/howtouse/list/) を利用する場合のUVSOR施設利用です。	前期・後期・通年 (*)から選択いただけます。前期、後期の研究期間をご確認いただき、どの時期に研究集会を実施するかご検討の上研究期間を選択してください。	あり	あり	あり	なし
(G)	機器センター施設利用 (マテリアル先端リサーチインフラ)	機器センターが所有する機器 (https://arim.ims.ac.jp/howtouse/list/) を利用する場合はこちらへ申請してください。	通年のみ選択いただけます。一度の申請で一年を通じてご利用いただけるため、来所計画などをよくご検討ください。	なし	あり (随時のみ)	あり	なし	

(*) 前期…4月～9月 / 後期…10月～翌3月 / 通年…3月～翌3月

種別		概要	研究期間の区分	定時申請 (毎年12月〆切)	随時申請 (前年度2月受付開始)	旅費 配分	研究費 配分	備考
(H)	装置開発室施設利用 【①②から選択してください。】	① 装置開発室施設利用	装置開発室を利用する場合はこちらへ申請してください。	なし	あり(随時のみ)	あり	なし	
		② 装置開発室施設利用 (マテリアル先端リサーチインフラ)	特定の設備 (https://arim.ims.ac.jp/howtouse/list/) を利用する場合の装置開発室施設利用です。	なし	あり(随時のみ)	あり	なし	

- (注1) 過去の共同利用研究の事例については、分子研の出版物や採択課題の報告書を参考にしてください。(共同利用研究の報告書のオンライン公開は2020年度採択課題以降となり)
- 分子研 各種出版物 https://www.ims.ac.jp/about/publication/bunshi_publication.html
 - 分子研共同利用研究 実施報告書 https://www.ims.ac.jp/guide/joint_research_result.html
- (注2) マテリアル先端リサーチインフラ事業については以下をご参照ください。
<https://arim.ims.ac.jp/>